

岩手県農業関係試験研究機関の移転・廃止に際して
建立した記念碑の現況

令和5年1月

岩手県農業関係試験研究機関OB会

県の農業関係試験研究機関は創立以来、県内の気象特性、地域特性に対応した試験研究を行うため、本場、分場、試験地を配置してきましたが、設置場所の周辺環境の変化や研究機関の再編により、本・分場の移転、統廃合が行われました。

こうした施設に勤務経験のある職員は、彼の地に勤務した証を将来とも忘れることなく、また、後世に施設の在処を残すため、有志により実行委員会を組織し、賛同者の協賛を得て記念碑の建立を行いました。

建立に至った経緯は省略しますが、現在、県内8か所に建立され、所在場所は県施設（県有地）、市町有地、民有地にあり所有者のご協力のもとに管理されております。

今回、記念碑の設置場所の現況を確認するとともに、今後とも関係者の記憶に留めていただくため取りまとめを行いました。

記念碑の現況（令和5年1月現在）

※住所・団体・施設名の表記は、令和5年現在のもの

【施設名】	【設置場所】
① 岩手県立農業試験場	向中野公民館敷地内(盛岡市向中野)
② 岩手県立農業試験場	農業研究センター畜産研究所敷地内 (滝沢市砂込)
③ 岩手県園芸試験場 附) 皇太子殿下同妃殿下ご臨場記念植樹碑	農業研究センター敷地内 (北上市成田)
④ 岩手県蚕業試験場 附) 貞明皇后行啓記念碑	県立胆沢病院敷地内(奥州市水沢) 〃
⑤ 岩手県立農業試験場 遠野試験地	「介護老人保健施設とおの」敷地内 (遠野市松崎町)
⑥ 岩手県立農業試験場 県南分場	農産物改良種苗センター敷地内 (奥州市江刺)
⑦ 岩手県園芸試験場高冷地開発センター	一戸町有地内 (一戸町奥中山)
⑧ 岩手県蚕業試験場一戸分場	一戸町有地内 (一戸町字上野)

① 岩手県立農業試験場（盛岡市向中野）

○沿革

- ・ 明治 34 年 岩手県立農事試験場として岩手郡本宮村大字向中野字台太郎（昭和 16 年市制となり盛岡市向中野字台太郎、現在の盛岡市向中野）に創立
- ・ 昭和 25 年 岩手県立農業試験場と改称
- ・ 昭和 38 年 滝沢村滝沢字砂込 737-1（現農業研究センター畜産研究所）に移転

○記念碑建立年月日 昭和 57 年 10 月 23 日

○所在地 盛岡市向中野 2 丁目 37-18（現盛岡市向中野公民館敷地内）

Lat 39.68111797507974

Log 141.14260733127594



○碑文「農功不朽」



②岩手県立農業試験場（滝沢市砂込）

○沿革等

- ・昭和 38 年 盛岡市向中野から滝沢市滝沢字砂込に移転（現農業研究センター畜産研究所）
- ・平成 9 年 農業関係試験研究機関の再編により、岩手県農業研究センターとして北上市成田に移転・統合

○記念碑建立年月 平成 11 年 9 月

○所在地

滝沢市砂込 737-1
（農業研究センター畜産研究所敷地、国道 4 号線側の緑地内）

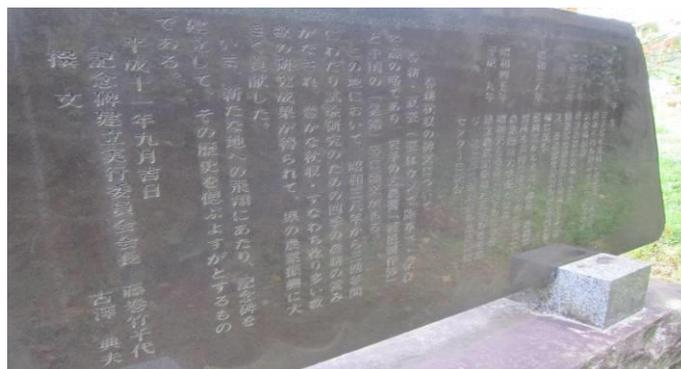
Lat 39.814799497283346

Lon 141.13235592842102



石碑から畜研本館を望む

○碑文 「春耕秋収」



③ 岩手県園芸試験場（北上市成田）

○沿革

- ・昭和 37 年 農林関係試験機関の機構整備により、県立農業試験場（盛岡市向中野）から、果樹、野菜の園芸部門を分離独立し、新たに園芸試験場として北上市飯豊町（現北上市成田）に創立
南部分場を陸前高田市に、大迫試験ほ場を大迫町に設置。
- ・昭和 46 年 県立農業試験場から、高冷地試験地（一戸町）が移管され高冷地分場として発足。
- ・昭和 56 年 高冷地分場は高冷地開発センターに改称
- ・平成 9 年 農業関係試験研究機関の再編により、岩手県農業研究センターとして現在地に移転・統合

○記念碑建立年月日 平成 11 年 9 月 17 日

○所在地

北上市成田 20-1（農業研究センター敷地内、国道 4 号線側バス停近くの緑地）

Lat 39.35301596815268

Lon 141.1099648475647



○碑文 「ここに 岩手県園芸試験場 ありき」

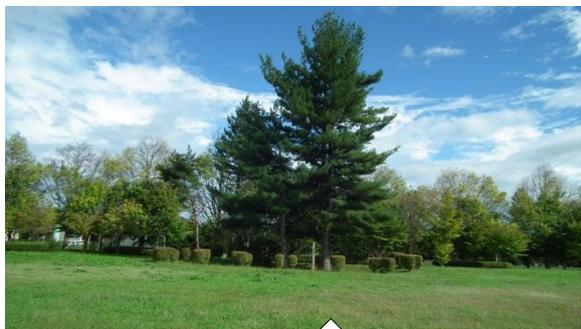


附) 皇太子殿下同妃殿下御臨場記念植樹

○沿革

・昭和 45 年 10 月 24 日に開催された
第 6 回全国身障者スポーツ大会開
会式の前日 23 日、皇太子ご夫妻(上
皇 上 皇 后 兩 陛 下) が園芸試験場へ
ご臨場され記念植樹。

樹種は県林業試験場産のストロー
プマツ 2 本。



農研センター本館から望む

○所在地

北上市成田 20-1 (農業研究センター敷地内、国道 4 号線側の緑地)



④岩手県蚕業試験場（奥州市水沢）

○沿革

- ・大正2年 岩手県原蚕種製造所として胆沢郡水沢町常盤（現奥州市水沢東大通り）に創立
- ・大正11年 岩手県蚕業試験場と改称
- ・昭和28年 胆沢郡水沢町龍ヶ馬場（現奥州市水沢龍ヶ馬場）に移転。
- ・平成9年 農業関係試験研究機関の再編により、岩手県農業研究センターとして北上市成田に移転・統合

○記念碑建立年月 平成8年11月

○所在地

奥州市水沢龍ヶ馬場61（現県立胆沢病院敷地内）

Lat 39.124441274306214

Lon 141.13632425665855



丸石は石碑の背面、後方には旧本館



石碑正面、北側を望む

○碑文「養蚕技術発祥之地」



※ 用いた石材を分割し、一戸分場記念碑にも使用している。



附) 貞明皇后行啓記念碑

○沿革

- ・昭和 25 年 10 月 4 日 貞明皇后が蚕糸業奨励のため来県された際に歌を詠まれ、これを記念して昭和 26 年 10 月蚕業試験場敷地内に歌碑を建立。

○所在地

- 奥州市水沢龍ヶ馬場 61 (現県立胆沢病院敷地内)
- 隣接して蚕業試験場閉場記念碑が建立されている。

貞明皇后
行啓記念碑

貞明皇后御歌

掃立てを終りて まゆにこもるまで
目もはなたれぬ こかひわざかな



⑤岩手県立農業試験場 遠野試験地（遠野市松崎町）

○沿革

- ・昭和 10 年 岩手県立農事試験場遠野試験地として上閉伊郡松崎村白岩（現遠野市松崎町）に開設。
- ・昭和 22 年 国営移管（農林省盛岡農事改良実験所遠野試験地として分離）
- ・昭和 26 年 岩手県農業試験場遠野試験地として県に移管
- ・昭和 37 年 廃止

○記念碑建立年月日 平成 3 年 3 月 27 日

○所在地

遠野市松崎町白岩 13-30-2

（現 医療法人社団敬和会「介護老人保健施設とおの」敷地内）



※隣接して白岩保育所がある
（碑の南側）

Lat 39.34177279311243

Lon141.5375666320324

○碑文 「耐冷米珠」



⑥岩手県立農業試験場 県南分場（奥州市江刺愛宕）

○沿革

- ・大正 8 年 岩手県立農事試験場胆江分場として江刺郡愛宕村字八日市に開設
- ・昭和 38 年 岩手県立農業試験場県南分場に改称
- ・平成 9 年 分場を廃止し、新設した農業研究センター銘柄米研究室として継続設置。
- ・平成 13 年 農業研究センター農産部水稻育種研究室に移転・統合

○記念碑建立年月 平成 14 年 6 月

○所在地

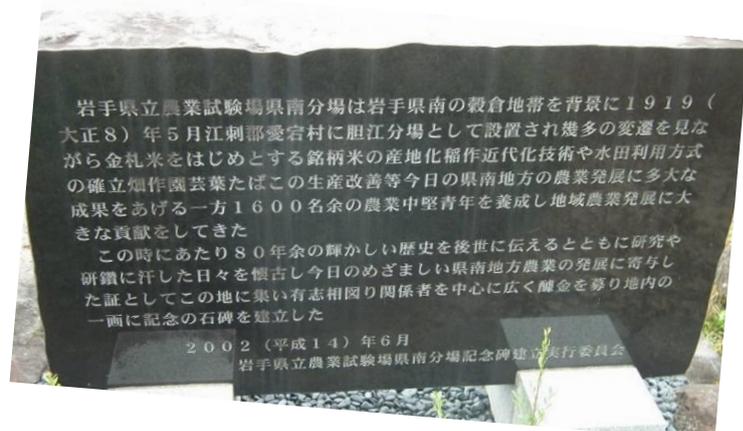
奥州市江刺愛宕八日市 69-4
(現(公社)岩手県農産物改良
種苗センター敷地内)

Lat 39.184508011873994

Lon141.16231083869934



○碑文 「研農豊穰」



⑦岩手県園芸試験場 高冷地開発センター（一戸町奥中山）

○沿革

- ・昭和 21 年 岩手県立農事試験場 奥中山高冷地試験地として二戸郡小鳥谷村小繫（現 一戸町奥中山西田子）に開設
- ・昭和 46 年 農業試験場から園芸試験場に移管され高冷地分場として継続設置
- ・昭和 56 年 高冷地開発センターに改称
- ・平成 9 年 新設された県北農業研究所に、農業試験場県北分場、蚕業試験場一戸分場とともに移転・統合

○記念碑建立年月 平成 12 年 9 月

○所在地

一戸町奥中山西田子 1315-1
（一戸町有地内）

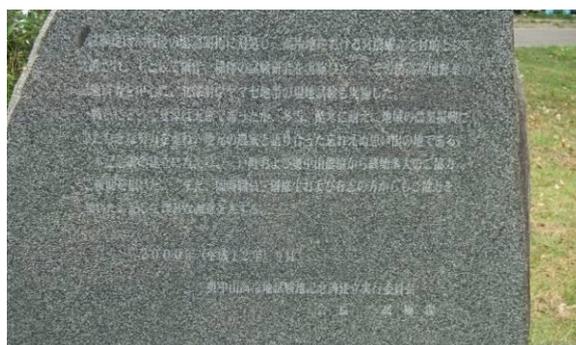
Lat40.06105129640931

LON141.22575044631958



南側から旧庁舎を望む

○碑文 「夏涼興農」



⑧岩手県蚕業試験場 一戸分場（一戸町一戸）

○沿革

- ・昭和5年 蚕業試験場一戸桑園として二戸郡一戸町蒔前に開設
- ・昭和13年 一戸支場に改称
- ・昭和32年 一戸分場に改称
- ・昭和36年 一戸町一戸字上野に移転
- ・平成9年 新設された県北農業研究所に、農業試験場県北分場、園芸試験場高冷地開発センターとともに移転・統合

○記念碑建立年月 平成9年3月

○所在地 一戸町一戸上野 127-1
(一戸町有地内、旧敷地北東端の民有地境界付近)

Lat40. 21178526403337

Lon141. 31211757659912



○碑文 「県北の 蚕かいのわざを広めんと 桑蓬の志士 この地に集う」

